

## 商店街 NEXT チャレンジャー育成事業の趣旨について

市の HP より: 市内商店街が抱える問題である「人材の確保・育成」を解決するため、コーディネーターや専門家の方を交え、**新しい商店街を創造**し、課題解決方法などを語り合う研究会（ラボ）を開催します。

はじめに：福岡市内に約120ある商店街（会）を元気にするためには？

これまでの商店街は市や商工会議所などと協働しつつ、様々な活性化策に取り組んできました。成果が出たものもあればそうでないものも。さらには市や商工会議所が提示した支援策を選ぶかたちで各商店街が策を講じていくため、現地の課題にフィットした事業が遂行できているかというとなかなか難しく。ここでそろそろ商店街の支援やその策の考え方を大きくシフトチェンジして、新しい方向を考えなければならない・・・がきっかけです。

活性化の「解決策を探す」のではなく、「解決策を探しうる人材を育てうる状況をつくる」こと

参考事例としている油津の再生事業は、4年の計画期間で20数店舗誘致できたことが成果ではありません。株式会社油津応援団や取り巻く市民の関わり、行政とのコラボ体制などが4年できちんと構築され、20数店舗誘致後のこれからのまちの変化に十分対応できうる体制ができあがり、人材の循環を生みつつサステイナブルシステムとなって走りだしていること。大切なのはこれから5年10年で評価が問われるフェイズに立ったということです。

長期的視点で福岡市の商業環境を考え・動いていくこと

油津は「猫さえ歩かない」危機的状況からありえないスピード感で今の状況まで押し上げました。福岡市内は幸いそこまでの危機ではありません。だからこそ、時間をかけてじわりじわりと、(若干ゆるいと思われるかもしれませんが)しかし根本的治療を施していないと行けないような気がします。予定されている9回のうち6～8月の前半3回の研究会を経て事務局はこれらの状況に気づき、研究会の進むべき方向性を見出しました。

- ★同世代の商業者同士の交流から新たなものを生む（思った以上に交流がなかった）
- ★「隣の芝生」をあえて見ることで気づく（周囲が見えていない、見たことがない）
- ★人任せではなく自分のチカラで解決策を考える（バカになると楽しいよ、きっと）

この研究会を通して「目」を養いたい

中盤に差し掛かった前回（第4回）より、参加者が調査対象の商店街を決め「同世代の商店街関係者たちと交流しながら思考錯誤する時間」を持つよう心がけ、ある程度それぞれの参加者の自発的な動きに任せています。本研究会の参加者が、3つの★を体験することで「解決策を探せる」人材となり、その先に「育てうる状況をつくる」人材（＝商店街 NEXT チャレンジャー）となっていくと考えているからです。

参加者のマインドセット（こんな気持ちで、これからも参加していただけたら）

### ①商店街からご参加の方々

この研究会に参加されている時点で、すでに様々な課題意識や熱い気持ちをお持ちと想像します。交流や思考を通して、さらに自らの「目」や「目線」を養い、気づきを得て、今後「商店街 NEXT チャレンジャー」として、福岡市の商売環境をじわりじわりと変革させていくような人材となっていきたいと考えています。

### ②商店街という商売空間に興味があつてご参加の方々

お考えの商店街へのご出店などに直接つながる動きではないかもしれませんが、この会を通して、商店街の課題やその先にある魅力に新たに・改めて気づいていただくと、自らのご商売や様々な構想・アイデアの発想の素になると思います。研究会を通じて、様々なものを得ていただければと考えています。

### ③商店街のまちづくりに興味があつてご参加の方々

商店街の再生・まちづくりは一筋縄ではいきません。ある意味、油津のように課題が見えやすいまちのほうがやる事が明確でゴールまでの一点突破がしやすいのかも。しかし、福岡市の商店街をなんとか元気にする方法はあるはず。事務局やアドバイザーとともに思考しながら9回の研究会が進んでいくことはとても刺激的だと思います。ぜひ一緒に進め方などの思考をしていただければと思います。

おわりに

これまで長い間なし得なかったことが簡単になし得るとは思っていません。しかし一歩踏み出さないと何も動かず。今年度の9回はその足場を組み立てる段階かも。ここ2ヶ月の試行錯誤はモヤモヤした時間が経過しているかと思えます。7回あたりまでに何かイメージがまとまればと思いますが、無理やりまとめるのではなくとも過ごす時間を楽しみながら、じわりじわりと進んでいければと思います。

